

神子畑橋と羽淵橋はそれぞれ 1885 年，1887 年に完成した。明延，神子畑，生野の鉾山町を「銀の馬車道(銀山の馬車道)」(現在は銀の馬車道として知られている生野鉾山寮馬車道)になぐ「鉾石の道」の一部として建設されたが，鉾山と南部にある姫路港の間の大型車両を支えるため橋は鋳鉄で作られた。経路の最初にある神子畑橋は日本で最も古い鋳鉄の橋で，また 3 番目に古い鉄の橋である。元々は「鉾山の道」沿いに 5 つの橋があったが，神子畑橋と羽淵橋だけが現存している。

1995 年洪水を防ぐため川底が広げられ，羽淵橋は移された。しかし神子畑橋は今も同じ場所であり，1977 年に国家遺産となった。